

2023.07.29 循環器 physical 総論 - 1

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

心音聴診にてある程度、疾患と重症度が判定できること。自分ができるかどうかふだんの練習が必要か
心音を聴く部位

座位での経静脈拍動で、心不全の評価ができること。右心不全の早期発見に蹲踞が役に立つこと。

心音聴診の重要性について

肺高血圧軽快した後も II p 亢進が残る。

日々の臨床で聞き逃している音を注意して聞いていきたいです。エコーで見るポイントをわかりやすく
よかったです。

I 音分裂、II 音の亢進のところが今までモヤモヤしていた点でよくわかりました。

IIp 評価の重要性

雑音の聞こえ方での重症度の判断をすること。

AS の重症例の拾い上げ

心音による診断のアルゴリズム

MR、AS の聴診上の鑑別点、II p の亢進 肺高血圧

頸静脈の観察法についてが印象に残りました

2023.07.30 疾患各論一午前の部

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

聴診・身体所見は勉強になりました。遅脈は AS の予後と関係しているとのことで、意識して診察したい
と思います

僧帽弁閉鎖不全の成因

ポケットサイズ心エコーの AS スコアと calcification score と組み合わせる話題はためになりました

弁膜症についての話

機能性 MR の話と Wellens など注意すべき疾患のお話が印象的でした

AS と MR の鑑別 Wellens 症候群

心房細動、心不全、狭心症など、それぞれ面白かったです

問診 検査前確率 聴診 頸静脈所見の重要性

身体所見の重要性

ST 上昇をきたさない、MI の所見をおしえていただき、今後注意してみていきたいと思った

昨日の室生先生、山本先生も素晴らしかったです。また今日の阿部先生、山崎先生の講義も素晴らしく勉強
強になりました。こういう内容のお話しを待っておりました。神回 4 連発。3 回は復習したいですね。

雑音を伴わないドプラ病を作らないこと。用心しなければならぬ心電図所見

ST 上昇のない ACS の心電図、AS と MR の聴診違い、遅脈

すべてでした。勉強しなおす必要性を感じましたので資料のほどよろしく願いいたします

心雑音からエコーまでの流れがわかりやすかったです。客観的評価方法が示されており、参考にしたいで
す。心電図上で ST 変化がわかりにくい心筋梗塞があることがわかりました。

wellens syndrome の話

レバインのサイン、引っかけの質問がポイントだったのですね。

2023.07.30 プライマリ・ケア医と専門医の連携一午後の部

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

シマウマの話は私も恩師からされたことがあり、懐かしく感じました。

心房細動のある患者の治療は難しいこと。心不全にはチーム医療が欠かせないこと。

全てが勉強になりました、ありがとうございました

林田先生、川崎先生の講義も明日から使える内容満載でとても役に立ちました。AF や心不全治療に対するもやもやがかなり晴れました。

心房細動と心不全に対して、多少なりとも自信をもって臨床に活かしていきたいです。 頸静脈を診ることを大切にしていきたいです。

心房細動の管理、心不全のファンタスティックフォーの話が印象的でした。

各講義とも熱がこもってとても役に立ちました。出色のセミナーでした。

心不全・心房細動、相対的徐脈で悪化する。